

■ アタッチメント型スマート水道メーターの概要

【アタッチメント型スマート水道メーターの外観と設置条件】



- ① 対象水道メーターは、口径 13mm、20mm、25mm に対応
※今回の実証では、20mm 及び 25mm を対象に実施
- ② 水道メーターの蓋を開いた状態で、メーターボックスの蓋が閉められること
※メーターボックスには、アタッチメントの他に通信端末も設置（アタッチメントと通信端末はケーブル接続）
- ③ 凍結防止用カバー等、アタッチメントや通信端末の設置に支障が無いこと
- ④ 水道メーターのガラス面に傷や汚れが無いこと
- ⑤ 常時水没していないこと

【アタッチメント型スマート水道メーターの特長（搭載機能）】

（１）OCR 検針機能

内蔵されたカメラでメーターの数値表示部分を撮影し、アタッチメント内部で、整数部 4 桁を OCR により数値化します。

【OCRイメージ図】



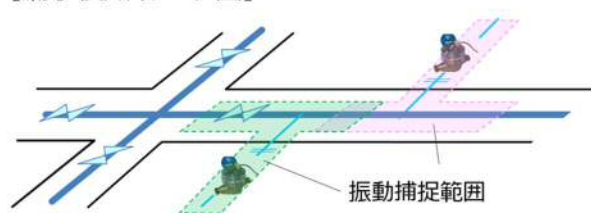
OCR 検針は、上位システムからの要求に応じて、実施して送信しますので、例えば 1 時間毎、1 日毎、1 週間ごとといった検針が可能です。

（２）漏水検知機能

内蔵された振動センサーにより、水道メーターに伝播する振動を捉えて分析し、漏水の可能性を探ります。

水道メーター近傍の振動を捕捉しますので、宅内だけでなく、道路側の給水管や配水管の漏水検知が可能となります。

【漏水検知イメージ図】



（３）通信機能

上位システムとの通信（上位システムからの検針要求受付、上位システムへの検針値や漏水検知アラームの送信など）機能を搭載しています。

なお、この通信方式として、電子式水道メーターやパルス発信式水道メーターでも用いられている自動検針メーター通信（8 ビット電文）を採用することで、接続親和性を高めています。